

まがし ちょうなん まがし

議会だより

笠森観音へ初詣
一年の幸せを願って…

平成31年1月1日撮影

第4回定例議会

- 旧長南小を(株)リングローに無償貸付…………… 2
- 5人の議員が一般質問…………… 5～10
- 先進地に学ぶ…………… 11

第4回 定例議会

旧長南小を (株)リングローに無償貸付

平成30年第4回定例議会は、12月6日に招集され、1日間の会期で開きました。

この議会では、町長から提出された、財産の無償貸付1件、修正予算3件を審議しました。審議の結果、活発な討論が行われ、一般会計補正予算(第3号)を除き、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算(第3号)については、一部を削除する修正動議(※内容は3ページ)

が提出され、可決し、修正部分を除き、原案のとおり可決しました。

一般質問は5人の議員が行いました。

また、発議2件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。



活用が決まった旧長南小

財産の無償貸付

旧長南小学校の跡地活用について、『長南町立小学校跡地活用基本方針』に基づき、小学校跡地検討委員会や住民説明会、まちづくり委員会の答申を経て、本年2月1日から2024年3月31日までの約5年間で、(株)リングローに対し無償貸付けることについて、議会の議決を求めるものです。

討 論

反対

加藤 喜男議員
6つの理由から旧長南小の貸出反対

町民から使用要望があること。貸出し相手の規模に不安があること。無償であること。契約書の案が示されないこと。修繕費の負担が不相当であること。又貸しがあり町財務規則に違反する可能性があること。以上6つの理由から反対します。

反対

和田 和夫議員
又貸しは財務規則に違反

契約書案を議会に見せられないというのは議会軽視と言わなければなりません。また、リングローはテナントとして又貸しをする内容で、町財務規則に違反しますので、反対します。

財産の無償貸付

補正予算

○一般会計(第3号)
3587万3千円を増額

旧小学校のブロック塀診断調査業務及び有害鳥獣駆除報奨金、長生農業独立支援センター設立準備負担金、消防機庫建設に伴う測量、造成工事費などを増額し、予算の総額を44億4105万7千円にするものです。

賛成

左 一郎議員

地域貢献に大きく寄与
進出企業は、パソコン中古IT機器に目を向けた会社運営で、何より「長南集学校」として地域貢献に大きく寄与し、雇用創出、地域経済の波及効果、地域活性化に資することが期待できるため、賛成します。

賛成

御園生 明議員

町の将来発展に期待できる
①地域活性化、雇用創出、②イベントへの協力、③地域に溶け込もうとしている点、④財政負担の軽減などが見込まれ、町の将来発展に期待できることから賛成します。



消防機庫建設予定地 (又富地先)

修正動議

森川 剛典議員外3名
提出

本補正予算に計上された「長生農業独立支援センター」は長生地域の農業後継者不足に対応するため、郡内町村とJA長生の共同により「長生農業独立支援センター」設立に向けた準備負担金110万5千円を増額補正するものである。しかし本町においては、町独自に新規就農者の募集と支援を行っており、5人の蓮農家への就農が実績として確認されています。このため、本センター設置による単なる相談窓口の設置や支援の一本化で効果があるか疑問であり、永続的な運営費用や設立の必要性、費用対効果を考慮し、本補正予算から削除すべきと考え、修正案として提出

するものです。
なお、全員の賛成をもって修正動議は可決されました。

「修正動議」とは・・・

町長から議会に議案の提出があった場合に、議員がこの議案について、地方自治法の規定により修正案（議案の内容修正、予算額の変更、削除など）を提出することができます。

この修正案の提出については、議員定数の12分の1以上の賛成者（本町では1名）と共に案を備え、あらかじめ文書により議長に提出しなければなりません。この結果、修正案が新たに議案として追加され、審議の対象となります。

○介護保険特別会計 (第2号)

36万円を増額

介護認定審査会の簡略化に伴う介護保険システムの改修に伴い、36万円を増額し、予算の総額を10億6520万6千円にするものです。

○農業集落排水事業特別会計 (第1号)

183万6千円を増額

給田交差点改良に伴う工事費として183万6千円を増額し、予算の総額を2億1203万6千円にするものです。



改良が進む給田交差点

議員発議

御園生 明議員外3名
提出

○長南町議会傍聴規則の一部改正

個人情報保護の観点から傍聴人受付簿を傍聴人受付票に改めるものです。

御園生 明議員外3名
提出

○長南町議会議員の定数を定める条例の一部改正

議員定数について、昨年度から全員協議会で数回にわたり協議し、様々な意見が出ている状況ではあるが、住民の声や財政状況、人口減少などを踏まえ、1人削減し、13人とするものです。また、附則において、産業建設常任委員会の定数を「5人」から「4人」に改めるものです。

長南町議会議員の定数を定める条例の一部改正

反対

河野 康二郎議員

議員間討論は道半ばよりよい議会の実現、議会改革につながる端緒にすぎない道半ばの議員間討論を大事にしたい。また住民とともに考える必要性があること、さらに十分な周知期間も必要であることから反対します。

反対

岩瀬 康陽議員

定数1名削減は拙速
近隣自治体や本町の人口等から、削減は必要である。しかし、住民の議会満足度の向上を図るには、議員の資質向上と議会改革も一体で取り組むべきであり、継続協議が必要である。1名削減は、住民受けを狙ったものであり、拙速と考えるので反対します。

賛成

加藤 喜男議員

不十分と思うが半歩前進と判断
適正な議員数は、人口、面積など多くの要素があり難しいが、私は10名でも良いと思う。今回の提案は半歩前進であり賛成する。ただし、今回の1名減に落ち着くことなく、本町に必要な議員数について調査検討が必要である。

賛成

森川 剛典議員

民意は定数削減を望んでいます
議員定数の削減については先送りしてきたが、民意は削減を望んでいます。将来的な財政負担等から2名減を訴えてきたが、沖繩の事例を見ると今回は13名でやむを得ないと考え、賛成します。

長南町議会議員の
定数を定める条例
の一部改正

反対

和田 和夫議員

多様な町民の声が届く
議員数が必要

議員は多様な町民の
声が届く議員数が必要
です。「議員は減らす」
ではなく、働かせる方
が良いのです。議員定
数削減は、議会・行政
を住民から遠ざけ、命
と暮らしを守る自治体
の役割を弱めるものと
考え、反対します。

賛成

小幡 安信議員

削減に賛成します

反対者の理由も理解
できますが、議員の話
し合いで今回は見送る
という結果があったに
もかかわらず、こうし
て発議として提案され
たことに町民の無言の
圧力を思い、賛成しま
す。

平成30年 長南町議会第4回定例議会 議決結果

議案番号	件名	議席番号 議決の結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			林 義博	小幡 安信	岩瀬 康陽	御園生 明	松野 唱平	河野康 二郎	森川 剛典	大倉 正幸	板倉 正勝	左 一郎	加藤 喜男	丸島 なか	和田 和夫	松崎 剛忠
議案 第1号	財産の無償貸付につき議決を求め ることについて	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	○
議案 第2号	平成30年度長南町一般会計補正 予算(第3号)について	修正部分 を除く原 案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
修正案	平成30年度長南町一般会計補正 予算(第3号)に対する修正動議	修正案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案 第3号	平成30年度長南町介護保険特別 会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案 第4号	平成30年度長南町農業集落排水 事業特別会計補正予算(第1号) について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
発議 第1号	長南町議会傍聴規則の一部を改正す る規則の制定について	原案可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○
発議 第2号	長南町議会議員の定数を定める条 例の一部を改正する条例の制定に ついて	原案可決	○	○	×	○	欠	×	○	○	-	○	○	○	×	×

○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は賛否に加わらないため「-」で表示

＜庁舎建設について議会全員協議会で検討＞

議会全員協議会では建設場所に関し、基本方針で示された建設場所ではなく、既存庁舎を解体し、現在の場所に建設すべきとの意見が多数を占めました。その結果、議会として次のとおり意見・要望事項を提出しました。

- 1 平成32年度が財政支援を受けられる期限となっていますが、財政支援を受けられなくとも、現在示されている建設場所ではなく、既存の本庁舎を解体し、既存の場所が役場庁舎としてはより最適ではないかと考えます。保健センター、公民館などを最大限活用し、仮設庁舎は建設しない形での検討を望みます。
- 2 庁舎の階数については建設場所を変えることにより、2階でもよいのではないかとこの意見でありましたので、再検討を望みます。
- 3 幅広く町民の意見を聴いて、本事業を推進されるよう望みます。

ここが聞きたい！

一般
質問

5人の議員が一般質問を行う

定例会の初日に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。
件名について掲載いたします。

加藤喜男 議員

- (仮称) 渡邊辰五郎記念館事業について
- 商工会館建設について
- 中学校における社会科教育について
- ★旧長南小学校の貸出について
- ★副町長について

大倉正幸 議員

- 防災対策について

和田和夫 議員

- 国保について
- 町政運営について
- 長生病院の充実について

丸島なか 議員

- 学校における「がん教育の推進」について
- 防災・減災対策について

森川剛典 議員

- 住宅政策について
- 超高齢社会に向けた対策について
- 公共施設等の付属施設の整備について

町政を問う

一般質問は、質問者本人の原稿を基に掲載しています。

本人の希望により写真を掲載していない場合があります。

印の質問は掲載された質問ですが、★印は紙面の都合により掲載していません。

詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。

辰五郎記念館事業の 進捗状況は

単独実施は取り止め



加藤喜男 議員

問

町長は民放テレビで、辰五郎記念館事業について、「事業費も決まらない中で説明会をするのはつらかった」「記念館をつくっても2億円ぐらい」と発言されました。2億円の根拠、基本設計の状況についてお聞きします。

生涯学習課長

建設費用等については、役場庁舎また中央公民館の建替えなどを検討する中で、その時点での上限額として考えていた金額です。

また、今年度予算計上した記念館事業単独での基本設計業務につ

問

商工会館建設の町補助金予算は2400万円、建設事業費は2770万円、補助率は86・6%とお聞きしました。ちょっと高く、半端な率であり、3分の1とか2分の1が一般的な補助率だと思います。商工会には毎年360万円の補助をしています。高い補助率になった経緯をお聞きします。

地域や各種団体の利用も

産業振興課長

商工会館建設の資金計画は、自主財源の積立金をまず充て、不足

いては、その執行を保留していましたが、単独での実施については取り止めとしました。

補助率が 高すぎないか

する分を町補助金として交付をしました。

同会館につきましては、地域経済の活性化のための町内商工業者の活動拠点となります重要な施設です。商工会員の相談や支援窓口、その他青色申告会など各種団体の利用がごさいます。また、地域の集会所としての利用があることから、公共性を兼ねた施設の役割は大きいと考え、この補助となりました。



老朽化が著しい商工会館（写真手前）

問

慰安婦問題をはじめ、中国、北朝鮮、ロシアなど近隣諸国と色々問題があります。国際化で外国人も多くなることから自国の歴史を知り、意見も言える人を育てる教育は重要です。中学校での教育状況をお聞きします。

現在の教育状況は

教育長

中学3年生の社会科学、公民分野の「さまざまな国際問題」において指導しています。

具体的には、「私たちと国際社会の諸問題」の項目において、地球環境、資源・エネルギー、貧困などのグローバルな課題から、国家間の領土の問題、国家主権、主権の相互尊重、国際連合の働きなどを学習しています。

現在、教科書には、北方領土や竹島、尖閣諸島などの問題についても個別に示されており、「特に中国や韓国との関係では、隣国として相互理解に努め、たがいの発展と繁栄を図る努力が必要だ」と記されており、必要に応じて習がなされていると考えています。

防災行政無線戸別受信機の 配布状況は

現在 2452 世帯に配布

大倉正幸 議員

問

アナログ式が平成31年2月末に終了予定で、デジタル式に完全移行することとなりますが、デジタル式戸別受信機の各戸への配布状況と未配布家庭への対応について伺います。

総務課長

現在2452世帯に配布しております。広報しようなん9月号等でも案内しましたが、引続き広報等によって周知していきたいと考えております。

避難所などの鍵の管理状況は

問

旧4小学校が避難所に指定されていますが、体育館の鍵の管理状況、また防災用品は校舎内に収納されているが、すでに企業が使用している校舎の鍵の状況について伺います。

総務課と財政課で鍵を保管

総務課長

総務課と財政課でそれぞれ鍵を保管していますので、避難所を開設する際には職員が鍵を開けることができます。また、校舎の教室への入室の際は緊急用の電話によって協力を求めます。

停電対策・給水対策は

問

停電対策として大型の発電機の用意、給水対策として井戸の掘削などは出来るのか伺います。

総務課長

現時点では小型発電機または備蓄水での配備で対応したいと考えます。

防災訓練に小学生などを参加させては

問

防災訓練が最も近マンネリ化していると思うが、保育園児や小学生を積極的に参加させることは出来ないか伺います。

総務課長

幅広い年齢層の方に参加していただけるように、子供向けや親子で参加できる訓練を取り入れていくなど、より効果的な防災訓練に向けた検討をしていきたいと思えます。

町内企業や商店との連携は

問

災害時の町内企業や商店等の連携について伺います。

総務課長

水や食料品の企業と協定を締結

公共施設に設置の自動販売機のジュースや水などの無償配布が2社、食料品の優先的配布が1社、備蓄水の提供が1社と災害協定を結んでいます。町内の店舗との協定は1社です。また、寝具企業との連携は、寝具としてすぐに提供できるものは少数とこの状況です。

町に設置された震度計について

問

本町に設置の震度計が7月7日に震度5弱を記録したようだが、町はどう考えているか伺います。

総務課長

若干震度が大きく観測される傾向
確かに近隣市町村に比べて、若干震度が大きく観測される傾向があるように感じています。現在、県設置の震度計とは別に、気象庁から長南町に震度計を設置したいという申し出があります。その設置に向けた調整を行っている状況です。



毎年実施している防災訓練

国保と協会けんぽを比べると



和田和夫 議員

国保は協会けんぽの2倍強の負担

問

国保世帯の所得は低く、公的

医療保険制度の中で、国保税が一番重い負担を強いられています。

年収400万円で30歳の夫婦と子供2人の場合、中小企業の労働者が加入している協会けんぽと国保を比べるとどうですか。

また、平成29年度の決算で実質収支が9714万円、財政調整基金が3913万円、合わせて1億3627万円あります。来年度の国保税の見直しと協会けんぽ並みの保険税にするため、国に1兆円の公費負担を要望するよう求めます

が、町の考えを伺います。

健康保険課長

年収400万円、30歳の夫婦で子供2人の場合、協会けんぽは東京特別区で19万8000円。町の国保は41万4900円で、協会けんぽと比較して2倍強の開きがあります。

また、来年度の保険税不足分は、繰越金と財政調整基金の充当により保険税率の上昇を避けたいと考えています。

国に対して毎年、国保制度改善強化全国大会で財政支援の拡充や公費投入などの要望をしています。

子どもたちの声を生かす機会を増やして

問

少子化で子どもたちが少なく

なっているからこそ、長南町に愛着を持ち、住み続けられる町になってほしいと思います。各地で子どもたちの提案、アイデアを町政に生かす取り組みが行われています。子どもたちの声を聞いて、声を生かす機会を増やしたらどうですか。

子ども版・町長と語る会などをメニューに追加

企画政策課長

60周年記念誌での町長との対談、第4次総合計画を作る時に中学生アンケートなど、過去に子どもたちの意見を聞く機会を設け、将来を担う若い世代の意

構成市町村で協力

健康保険課長

改善策や支援できることは、構成市町村で協力していくほかに

問

長生病院は急性期医療の入院、救急医療を担い

ますが医師不足は深刻です。外科の医師は1人しかなくて、外来や入院患者が減り、産婦人科の医師は現在ゼロで医師の確保が大変です。産婦人科と外科の医師の確保を病院任せではなくて、町は医師確保のために特別奨学金制度の設立が必要と思いますが、町の考えを伺います。

産科医の発掘や開業のための補助制度などを検討しましたが、現在効果的な打開策はありません。数年後の長生地域のあるべき産科医療体制の検討を引き続き協議していきます。



医師不足が課題とされる長生病院

学校における がん教育の推進は

がん教育の推進に力を入れます



丸島なか 議員

問 平成24年6月、がん教育の

推進が盛り込まれた為、正しい知識を子供達に教える取組みが全国に広がり、がん検診の受診率が上昇しました。

7年前に質問しましたが指導要領にないとの答弁でした。実情と今後の対応について伺います。

教育長

小学6年生の保健、中学3年生の保健体育の学習で、生活習慣病の予防、喫煙、飲酒の害等について学習しており、生活習慣に配慮することが、がんや心

臓病等の予防に繋がると指導しています。又、教材や資料が出されているので、外部講師の派遣も含め、特に中学校では、がん教育に力を入れていきます。

液体ミルクの備蓄について

問 液体ミルクは、お湯などを

用意する必要はなく、常温保存が可能で、東日本大震災や熊本地震の時、救援物資として届けられ、大勢の赤ちゃんが助けられました。水や燃料が確保できない災害時の負担軽減にも繋がります。災害備蓄品に液体ミルクを加える考えを伺います。

現段階での備蓄は難しい

総務課長

現段階での備蓄は難

しいと考えるが、メリットがあるので、国内の流通体制が整い、使用方法やリスクなど十分に理解が進んだ時点で、災害時の備えとして活用できると考えています。

障がい児(者)の避難について

問 障がい者をお

持ちのお母さんから、避難した場合は皆さんと一緒に避難生活ができないので、対応をお願いしたい旨の話があり、町としての対応を伺います。

丁寧な配慮を

総務課長

知的障がい者・精神障がい者・児の方などが避難所で生活する場合、障がいの特性等により特段の配慮が必要です。環境変化、ストレス、服薬の中断に

よって病状悪化に繋がるとリスクがあるので、丁寧な配慮を考えています。

感震ブレイカーの設置について

問 火災を防ぐた

めには、地震を感知すると自動的にブレイカーを落として電気をとめる装置が感震ブレイカーで、電気関係の火災の出火・延焼を防止し、被害を軽減することが出来ます。町として感震ブレイカー設置についての考えを伺います。



周知・啓発に取組む

総務課長

広報等で周知し、設置に向けた啓発に取り組んでまいります。

ペット避難対策について

問 災害が相次

ぎ、家族の一員であるペットを守る対策が必要です。東日本大震災の時等、ペットの臭いや鳴き声等が原因で、避難所でトラブルが続出したそうです。町のペット避難対策について伺います。

避難所の外に飼育スペースを確保

総務課長

避難所の中にペットを連れていくことは、他の避難者に不快感や動物アレルギーの方も想定されるので、避難所の外に飼育スペースを確保することとして

サニータウン米満の成果は

成功裏に完了



森川剛典 議員

問

サニータウン米満は完売したようですが、成果をどのように捉えていますか。また、具体的な費用や効果について伺います。

企画政策課長

30年4月に13区画が完売（着工12戸）となり、町外への人口流出に歯止めをかけた点など、成功裏に完了したと捉えています。総工費は5800万円、販売代金が2560万円、住宅取得奨励金の支払いは10件で1290万円、移住された方は44名で町外の

税務住民課長

方30名、未成年者は19名となっています。年間約66万円、税収増となっています。

今後の考えは

成果のある事業なら今後も継続して取り組むべきだと思いますが、今後の総合的な住宅政策や又富団地について伺います。

問

身の上にあつた事業展開

企画政策課長

本町のような過疎地域では外部からの人口転入を目指すのではなく、若い世代層にいかにとどまって貰うかが肝要です。民間業者の開発やその誘導施策に重点をシフトするなど、身の上にあつた事業展開を考えていきます。

区画割を検討

財政課長

又富団地に残った大区画用地は29年度に2614㎡、30年度に508㎡を販売して、残っている大区画は3126㎡と1069㎡の2区画となっています。今後はその区画割も検討していきます。

認知症の対策は

高年齢化率の世帯平均が8%、本町では40%を超える超高齢社会の中で認知症の把握や取組状況と今後について伺います。

問

支援チームで対応

福祉課長

28年11月のデータでは、認知症や疑いのある方を合わせると

444人です。現在、町包括支援センターの中に認知症初期集中支援チームを編成して、相談のあつた認知症の高齢者に対応しています。今後は認知症のサポーター養成講座や元気教室などの開催をしていきます。



サポーター養成講座

交通網などの環境整備を

企画政策課長

関係機関と協力して、高齢者の移動手段確保に向けた交通網の環境整備をしていきます。

トイレの整備は

公共施設等のトイレについては、建設年度により旧式から新式まで様々あるが、時代にあつた温水洗浄便座の設置をどう考えているか伺います。

問

建替え時や必要性に応じて

財政課長

役場本庁舎や公民館は建替えの際に設置し、他の施設については障がい者用・一般トイレを含め設置の必要性を考慮して対応していきます。

自主返納後への取組みは

本町での高齢者の運転免許自主返納後の取組みについて伺います。

問

先進地に学ぶ

研修日：10月24日～26日

視察 報告

町政の課題解決に向けて議員の自主研修を実施する

議会改革 鳥取県大山町 だいせんちやう

○町の概要

鳥取県の西部に位置し、中国山脈の主峰大山に接する人口約1万6500人の町であり、主な産業は、農業・畜産・観光である。

○取り組みの概要

議員自ら「開かれた議会」を目指して、議会改革調査特別委員会を設置して、改革に取り組んでいる。

・第一次改革（H21年）

議会公開度の向上のために、本会議と常任委員会等のテレビ放映を、また議会活動等を住民に周知するために、議会報告会を実施する。

・第二次改革（H23年）

議員の資質向上のために議員討論会を、また議員の政策能力等の向上のために、研修会及び勉強会を実施す

コンパクト ブレッジ構想 鳥取県日南町

・第三次改革（H27年）

議会広報の充実と、タブレットの導入に向けた調査、検討を進める。

○まとめ

大山町議会は、積極的に、議員の資質や議会公開度等の向上を進めて、町民の議会への信頼感を高めている。

本町議会も、町民から信頼される「開かれた議会」等の改革を進めるため、大山町議会の取り組みを大いに参考にすべきと考えます。



大山町役場前にて

コンパクト ブレッジ構想 鳥取県日南町

○町の概要

鳥取県の最西南端に位置し農林業を基幹産業とする、人口約5000人、面積約341km²の町である。

また、人口減少と少子高齢化、地域経済の衰退が課題となつている。

○取り組みの概要

本構想の中核となる道の駅「にちなん日野川の郷」を商業拠点として、約1km圏内に行政ゾーン（役場・図書館等）、医療福祉ゾーン（病院・保健センター）の3拠点を整備する。また、この3拠点を町営バスで連携し、町民の移動機能の充実を図る。

○まとめ

日南町は、道の駅を町民総活躍の場とし

て、農産物直売所、レストラン等の整備を行い、町の経済循環効果の拡大を進めている。

○町の概要

また、生活機能を3拠点に集中させるとともに、各拠点を連絡する公共交通を充実させて町民の利便性を高めている。本町も同じ構想を抱えており、この構想は持続可能なまちづくりを目指すために参考になると考えます。



日南町での研修

出雲縁結び プロジェクト

鳥取県出雲市

○市の概要

鳥根県の東部に位置する人口約17万5000人のまちで、出雲大社等の歴史文化遺産が

豊富である。近年は「縁結びのまち」として全国から注目を集めている。

○取り組みの概要

平成25年度から、縁結びプロジェクト（男女の出会いの場と結婚支援）を行う専門部署を設けて、婚姻率上昇に取り組む。また、婚活サポートマネージャー等を配置して、女性専用の結婚相談や婚活支援セミナー等を実施している。

○まとめ

出雲市は、子育て支援や雇用対策等の関係部署と連携して、若者の人生設計への不安解消を図り、未婚率を全国や県の平均値より低くしている。本町も、これらの施策を参考に、婚活支援の方法を更に調査検討して、婚姻率の上昇に努めて行くことが肝要と考えます。

芝原に在住
御園生 みその
愛美さん まなみ



長南町の 若い力

佐坪に在住
松崎 まつさき
千佳代さん ちかよ



自然は人間の苗床

米農家に嫁ぎ、8年になりました。小学校1年生の長男は、父親や祖父、曾祖父を追いかけながら一緒に作業をします。そして、離乳食を食べる弟には、「兄ちゃん達が作った米だぞ」と教えています。米作りの大変さを体感しながら美味しいお米を食べられる幸せを感じています。

自然の恵みや四季の変化を楽しみながら、のびのびと子育てができる長南町が私は大好きです。また、子育て支援や地域の方々の温かいサポートなどに感謝しています。

自然と緑豊かなこの土地で子どもたちの笑顔を守り続けていきたいです。

長南町での子育て

子どもが保育所に通う今、先生をはじめ保護者の皆さんや温かく見守ってくれる方々が多い長南町の環境に感謝しています。出産後の保健師さんの手厚い支援、子ども医療費助成制度等、子どもが少ないならでの対応で助かります。

しかし、一方で子ども達が自由に遊べる公園が不足していたり不便を感じることもあります。個人的には、世間で「小1の壁」と言われる学童保育問題です。政府は学童保育の基準緩和等を検討し、質の低下が懸念されていますが、長南町ならではの視点で質の向上をお願いします。

この先も安心して子育てできる町として一緒に歩んでいけたらと思います。

引き継がれる伝統行事 七五三お祝い 坂本神社



坂本の坂本神社（宮田修宮司）では、毎年12月の第2日曜日に、本町で唯一の七五三の祭事が執り行われています。今年も、わずか三人のお子さんたちでしたが、長生きをして欲しいという願いが込められた「千歳飴」が配られました。

編集のあとで

昔から一月は行く、二月は逃げる、三月は去る、と言われていますが、あつと言う間に二月を迎えてしまいました。暦の上では、まもなく春だということに、今も我家の庭には霜柱が立っており、早く暖かい春が来ないものかと待ち望んでおります。

さて、私たち議員も早いものでまもなく4年の任期を迎えることとなります。そして、次回選挙からは、議員定数が1名削減されて13名となります。この削減により、行政審査と政策立案機能の低下が生じないよう全議員が、より一層自己研鑽に励むとともに、議会活力度の向上にも努めていく必要があると強く認識しております。

皆様におかれましては、まだまだ寒い日が続きますので、体調を崩しやすい時期ですので、ご自愛の程お願い申し上げます。

(岩瀬康陽)

議会を傍聴して

みませんか？

めんどろな手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。

次回の定例議会は、
2月28日(木)から
開会の予定です。

長南町議会広報特別委員会

発行責任者	板倉正勝
委員長	加藤喜男
副委員長	岩瀬康陽
委員	松野唱平
同	大倉正幸